

令和元年度第2回
千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会
あんしんケアセンター等運営部会議事録

- 1 日 時 令和元年10月7日(月) 午後7時～午後8時30分
- 2 場 所 千葉中央コミュニティセンター 8階千鳥・海鷗
- 3 出席者 (委員) 畔上加代子、伊藤雄介、合江みゆき、鮫島真弓、田辺裕雄、太齋寛、恒吉良典、
時田豊、中村龍一、西尾孝司、福留浩子、松崎泰子、和田浩明 (敬称略)
(委員14名のうち13名出席)
(事務局) 山口保健福祉局次長、佐藤高齢障害部長、石川地域包括ケア推進課長、
高石高齢福祉課長、大塚介護保険管理課長、清田介護保険事業課長、
前嶋保健師活動推進担当課長、三橋地域包括ケア推進課長補佐、他7名

4 議 題

- (1) 部会長の互選及び職務代理の指名について
- (2) 介護予防支援事業の委託について
- (3) 千葉市あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について
- (4) 地域密着型サービス事業所の指定等について (報告事項)
- (5) 【非公開】令和元年度地域密着型サービス事業者の募集について (報告事項)
- (6) その他

5 議事の概要

議事に先立ち、会議の議題(5)は非公開であることを確認した。

- (1) 部会長の互選及び職務代理の指名について
互選により松崎委員が部会長に、部会長の指名により田辺委員が職務代理に選出された。
- (2) 介護予防支援事業の委託について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (3) 千葉市あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (4) 地域密着型サービス事業所の指定等について (報告事項)
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (5) 【非公開】令和元年度地域密着型サービス事業者の募集について (報告事項)
事務局より資料に基づき説明を行い、質疑応答を行った。
- (6) その他
各委員からの連絡事項の伝達及び質疑応答を行った。

6 会議経過

松崎部会長	<p>議事に先立ち、事務局より会議は議題5が非公開であることを確認し、その後、山口保健福祉局次長が仮議長となり議事を進行した。</p> <p>～議題1 公開議事～</p> <p>部会長の互選及び職務代理の指名について (西尾委員が松崎委員を推薦し、異議がなかったため松崎委員が部会長となる)</p> <p>ご推薦いただきまして、ありがとうございます。非力ではございますが、あんしんケアセンターが定着していけるよう努力していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくをお願いいたします。このたびの台風15号のときも、私もいくつかの施設を関わっておりまして、本当に入居者を守るかと思っただけで心配に思っていました。いろいろな形で支援をいただきまして感謝しております。</p> <p>今回、あんしんケアセンターというのはこういう災害のときどれだけの機能を果たすのかということ、基本的には在宅の方に対して役割を担うということを改めて感じました。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>(その後、松崎部会長が議事を進行する) (松崎部会長の指名により、田辺委員が職務代理となる)</p>
田辺職務代理	<p>ただいま職務代理にご指名いただきました千葉市社会福祉協議会の田辺でございます。松崎部会長が円滑に議事を進行できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
松崎部会長	<p>ありがとうございます。それでは早速議題2に入らせていただきます。</p> <p>～議題2 公開議事～</p> <p>介護予防支援事業等の委託について (石川地域包括ケア推進課長より、議題2 介護予防支援事業等の委託について説明を行った)</p> <p>議題2についての質疑応答</p>

松崎部会長	<p>議題2に關しましてご意見等、ございませんでしょうか。</p> <p>(質問、意見等なし)</p>
松崎部会長	<p>それでは以上で、議題2を終わりたいと思います。</p> <p>～議題3 公開議事～</p> <p>千葉市あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について (石川地域包括ケア推進課長より、議題3 千葉市あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について説明を行った)</p> <p>議題3についての質疑応答</p>
松崎部会長	<p>議題3に關しましてご意見等、ございませんでしょうか。</p>
太齋委員	<p>資料の中で、相談者延数と高齢化率の関係や訪問回数(延)と高齢化率の関係の図があり、大きな関係はないとのことですが、このような形で整理された目的はあるでしょうか。また、図の中に点線が入っており、右上の集団と右下の集団で、相談内容の部分で違いがあったのかどうかを教えてください。</p>
石川地域包括ケア推進課長	<p>高齢化率との関係を見た理由としては、高齢化率が高いところや高齢者が多いところは相談件数も多いのではないかと考え、その関係性を見ました。点線については、28圏域の平均となります。平均を境として、相関があれば、正の相関となるわけですが、結果としては、高齢化率が低いとしても、相談件数はかなり多いところもあれば、逆のところもあるという状況です。相関はないとすると、別の要因も考えていかなければならないということが分かりました。</p> <p>また、相談内容については、今回の資料には付けておりませんが、相談内容の差を見ると、認知症に関する相談が多いところがありますが、一方でそこまで多くはないところもあります。そこに、因果関係があるかどうかは分かりません。</p>
畔上委員	<p>このまとめを提示された中で、大体このようなところという印象でしょうか。思いがけないような、実はこのような問題があると知ったこと等はあるでしょうか。私からすると、千葉市は、認知症について色々ところで普及啓発を行っていると思います。</p>
石川地域包括ケア推進課長	<p>認知症に関しては、力を入れているセンターが出てきております。しかし、国の評価指標ではその点が見えないため、千葉市の独自指標として、認知症に関する取組み</p>

<p>畔上委員</p>	<p>が分かるような指標を作るべきだろうということで、提案させていただきました。</p> <p>千葉市がそのような取組みについて、分かりやすくするということでよろしいでしょうか。かなり大変だと考えられ、どこまでやれるのかということを考えると、まとめに書いてあることを全部やることは容易なことではないと思います。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>どのような聞き方にすると、あんしんケアセンターが答えやすいかということもあると考えます。例えば、認知症の関係では、関係機関との連携状況というところでは、認知症疾患医療センター、認知症初期集中支援チームやちば認知症相談コールセンター等、色々な関係機関があるので、そういったものを挙げて、連携の状況を見るという方法も一つと考えます。また、普及啓発の取組みについても、各種講座の開催や認知症の方を保護するような訓練を、地域をあげて取り組んでいるところもありますので、このような取組みをやっているかということやその回数を聞く等、聞き方を工夫して、できるだけ公平に評価ができるように考えたいと思っております。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>32ページにある、市として動いてほしい方向に努力してもらえとは、どういう意味に解釈すればよろしいでしょうか。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>インセンティブのところになりますが、優れたセンターにインセンティブを付与できないかという流れの中で、例えば、今年度はこういう点に力を入れてほしいというところをインセンティブの対象とする等ということになると思います。インセンティブをどのような基準で付与するかという具体的な話は、懇談会の場では検討しておりませんので、基準等は改めて検討しなければならないと考えております。</p>
<p>西尾委員</p>	<p>最終的な目的は、各センターが元気に頑張っていて、良い成果を出していただくということになります。こういうことをやると、事務量が増える傾向になり、パワーを損ね、事務作業に時間を奪われるということになります。様式の統一化や簡略化と並行して実施しないと、作業が増えてしまうため、その点への目配りをお願いしたいです。</p> <p>研修については、市主催研修も必要ですが、様々な団体が研修を開催しているので、研修費という費目を設定することで、インセンティブにも使えるのではないのでしょうか。そのような形で、自由に研修に行けるようなバックアップ体制を構築していただきたいと思っております。</p> <p>評価については、定量的な評価だけでは数集めになってしまう恐れはありますが、一方で定量的な把握は絶対に必要であると考えます。定量的な把握をしつつ、ミシュランのような感性評価ができる指標が必要となります。端的に言えば、事務所が整理されているか等が考えられます。</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>事業評価を通じた機能強化となっているので、捉え方としては、市民の方々が安心して相談ができる体制を構築することが重要ということで、全体的に指標として分か</p>

	<p>りやすいようにとのご意見と承りました。</p> <p>あんしんケアセンターで働く方々が、研修の受講等により資質の向上を図っていただくとともに、千葉市の独自指標も含めて、次年度の計画に盛り込んでいただきたいと思います。</p> <p>それでは以上で、議題3を終わりたいと思います。</p> <p>～議題4 公開議事～</p> <p>議題4 地域密着型サービス事業所の指定等について（報告事項） （清田介護保険事業課長より、議題4 地域密着型サービス事業所の指定等について（報告事項）について説明を行った）</p> <p>議題4についての質疑応答</p>
松崎部会長	<p>議題4に関しましてご意見等、ございませんでしょうか。</p>
太齋委員	<p>現時点で千葉市には地域密着型サービス事業所の数について整備計画がありますでしょうか。各圏域でどこまで整備する具体的目標、事業所数、定員数等がありますでしょうか。他の自治体の話を聞くと、圏域ごとに既に事業所があればもう開設はできないとの話もあるようですので、千葉市の状況を教えていただきたいと思います。</p>
清田介護保険事業課長	<p>地域密着型サービス事業所は地域包括ケアシステムの中核を担うサービスとして計画的な整備を行うため、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護は千葉市高齢者保健福祉推進計画、第7期介護保険事業計画（平成30年度～平成32年度）で、整備目標を定めています。</p> <p>定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、2025年度を視野に各区に2か所以上、早期に整備されることを目指しております。千葉市におきましては、補助金を活用した募集は公募でおこなっていますが、補助金を活用しない指定申請は市内全域を対象に随時受け付けをしております。</p> <p>小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護は、2025年度を視野に早期に全ての日常生活圏域に1か所以上整備されることを目指しております。このサービスについても千葉市におきましては、定期巡回・随時対応型訪問介護看護と同様、補助金を活用した募集は公募でおこなっていますが、補助金を活用しない指定申請は市内全域を対象に随時受け付けをしております。</p>
松崎部会長	<p>議題4については以上でよろしいでしょうか。</p>

<p>松崎部会長</p>	<p>(質問、意見等なし)</p> <p>それでは、議題4については、以上と致します。</p> <p>～議題5 非公開議事～</p> <p>議題5【非公開】令和元年度地域密着型サービス事業者の募集について（報告事項）</p> <p>・・・非公開議事のため、発言内容も非公開・・・</p> <p>～議題6 公開議事～</p> <p>議題6その他</p>
<p>松崎部会長</p>	<p>議題6に関しまして何かございますでしょうか。</p>
<p>畔上委員</p>	<p>私からは、2点あります。</p> <p>1点目は台風15号の停電についてです。</p> <p>まず、大規模停電の際に、電気が通じている間にやっておくことは、電動ベッドについて、停電前にベッドの高さを低くするように各事業所に連絡しました。そのため、ベッドからの転落事故は無かったと聞いております。</p> <p>また、今回の停電では、居宅事業者がどんなに苦労したかと思っております。訪問先の家の電気がつかないわけですから、しかも今は色々な器具が電気を使用していますので、停電するとその器具が使用できない事態になってしまいます。</p> <p>居宅事業者は、停電時に懐中電灯でガゼ交換やおむつ交換をするなどの介護をどう工夫することができるか、訪問先に信号も消えているなか訪問しなくてはならない場合どういう方法が取れるか等検証していくべきと思っております。更に、千葉県在宅サービス事業者協議会と千葉市においても、この災害を教訓に、今後予測される災害にどう対処していくか意見交換を行うことを予定しております。</p> <p>2点目は、生活支援コーディネーターについて、1層と2層というものがあります。2層の設置が大幅に進んでいますが、2層を設置した区における検証は出ているでしょうか。設置したことによる効果や問題点について、教えてください。</p>
<p>石川地域包括ケア推進課長</p>	<p>生活支援コーディネーターについては、1層を平成27年度から配置しておりますが、平成30年度から、よりきめ細かいニーズの把握やサービスの提供体制を構築するために、中央区をモデルとしてあんしんケアセンター圏域ごとに1人ずつ配置し、1層を1人の配置としております。</p> <p>検証の結果としましては、地域資源の創出数は、平成29年度と平成30年度を比</p>

<p>松崎部会長</p>	<p>較しますと、新たに創出した数としては2.5倍になっております。他区の平均は、ほぼ横ばいとなっておりますので、それに比べると、人数が増えた影響もありますが、数は増えたということがあります。また、新規に把握した数も、相当数を2層が把握していることから、情報の収集量としては増加が図られたのではないかと考えております。中身を見ても、あんしんケアセンターと一体的に活動している所がほとんどとなりますので、あんしんケアセンターが個別支援の中で把握した日常生活上の課題を吸い上げております。そして、吸い上げた情報内容を深化させ、地域固有の課題に対して協議体を設置した上で、様々な関係者を招集しております。具体例を申し上げますと、町内自治会、社会福祉協議会、民生委員、NPO法人、有料老人ホーム、ケアマネジャーが、我が事として主体的に関わり、有料老人ホームが場の提供をする等の具体的なサービスの立ち上げができており、課題を焦点化し、具体的な取組みにつなげることができました。</p> <p>そのようなことがあります。1層は2層をバックアップしていただいております。両方の連携が大事であると感じております。今後、2層を全区に拡げていきたいと考えておりますが、人の確保や経費も含めて課題がありますので、段階的に地域性に合わせて拡げていきたいと考えております。</p> <p>それでは、本日の審議は以上で終了と致します。</p> <p>全ての議題について説明、質疑応答が終了し閉会となる。</p>
--------------	---